

基本的なマニュアル記載項目

1. 患者の皆様へ

患者さんや患者の家族の方に知っておいて頂きたい副作用の概要、初期症状、早期発見・早期対応のポイントをできるだけわかりやすい言葉で記載。

2. 医療関係者の皆様へ

・ 早期発見と早期対応のポイント

(医師、薬剤師等の医療関係者による副作用の早期発見・早期対応に資するため、ポイントになる初期症状や好発時期、医療関係者の対応等について記載)

・ 副作用の概要

・ 副作用の判別基準 (判別方法)

(臨床現場で遭遇した症状が副作用かどうかを判別 (鑑別) するための基準 (方法) を記載)

・ 判別が必要な疾患と判別方法

(当該副作用と類似の症状等を示す他の疾患や副作用の概要や判別 (鑑別) 方法について記載)

・ 治療法

(副作用が発現した場合の対応として、主な治療方法を記載)

・ 典型的症例

(本マニュアルで紹介する副作用は、発生頻度が低く、臨床現場において経験のある医師、薬剤師は少ないと考えられることから、典型的な症例について、可能な限り時間経過がわかるように記載)

・ 引用文献・参考資料

(当該副作用に関連する情報をさらに収集する場合の参考として、本マニュアル作成に用いた引用文献や当該副作用に関する参考文献を列記)

※参考資料 1 マニュアル作成状況